

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 2 回さがみはら文化振興懇話会				
事務局 (担当課)		文化振興課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 0 2 (直通)				
開催日時		平成 3 1 年 3 月 2 2 日 (金) 1 4 時 0 0 分から 1 5 時 3 5 分まで				
開催場所		相模原市役所 第 1 特別会議室				
出席者	委員	7 人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	5 人 (文化振興課長、他 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 ( 1 ) 次期文化振興プランの策定に向けた市民意識調査及びヒアリング調査結果について ( 2 ) 次期さがみはら文化振興プランの策定に係る考え方について ( 3 ) 相模原市文化振興審議会の設置について ( 4 ) 情報交換 3 その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開 会

### 2 議 題

#### ( 1 ) 次期文化振興プランの策定に向けた市民意識調査及びヒアリング調査結果について

事務局より資料1及び2に基づき、説明を行った。

実施した各種調査結果をどのように活用していくのか。

次期プランの方向性の中で反映したいと考えている。

- 協会が抱える課題のひとつとして、入会する目を引くようなメリットがないため参画しないケースもあり、協会の継続にも影響が出てきている。次期プランの検討にあたっては、多くの市民に文化に触れてもらう機会を提供し、興味や関心を持ってもらえるような方向性を取り入れていただきたい。
- 協会に加入すれば施設利用料が割り引かれるなどのメリットがあるといいとは思いますが、行政主導で自主的な活動団体への入会支援を行うのは難しいため、次期プランで団体への支援をどう盛り込むかは検討する必要があると考える。
- 参考ではあるが、本会ではボランティアの一環として会員が講師となり、子ども向けワークショップを実施している。子ども達が作った作品と併せて、団体会員の作品を市民ギャラリーで展示することで団体の紹介も兼ねて行っている。
- 子どもの頃に文化に触れると継続して活動する傾向があると感じている。また、一時的に活動を止めたとしても、将来的に再開する人も多いように感じる。学校教育の中で、文化に触れる機会を設けるなどすると良いと考える。
- 学校では、子どもたちが文化に対して興味や関心を持つように、外部講師による演奏会を実施しているほか、高校との連携により美術作品の見学を行うなど、文化に触れる機会を設け、種を蒔くよう意識的に取り組んでいるところである。だが、そうした機会をきっかけに家族で文化活動や鑑賞を行うことは強制が出来ないため、別の支援が必要かと感じている。また、現代の子どもは塾や習い事などにより放課後の時間にゆとりがない実態もある。一方で、子どもの頃に文化に触れることにより、文化に携わる人を育てる視点は重要と考えるため、今後も文化に触れる機会を確保していきたいと思う。
- 文化の醸成には時間がかかることから、継続的な取組が重要と考える。  
幼い頃から文化に触れられる機会を設けることにより、文化の敷居を下げ、活動に参加しやすくしておくことが大事だと考えている。また、団体支援についてもこれまでとは違った支援が行えるよう、次期プランの中で検討していきたいと考えている。

## ( 2 ) 次期さがみはら文化振興プランの策定に係る考え方について

事務局より資料3に基づき、説明を行った。

若者への支援については理解したが、若い世代とベテラン世代が同じ場で意見交換を行うことも必要と考える。他の自治体においても、そうした取組を行っており、若い世代にとっては経験談や様々な情報や知識を得る機会になるとともに、ベテランの世代にとっては若い世代の考えを聞く機会にもなる。若い世代とベテラン世代の交流についても次期プランで触れていただきたい。

今回ご提案した方向性については、今年度実施した市民アンケートや団体ヒアリングの結果を踏まえて作成したものだが、その視点が漏れていたため、若い世代とベテラン世代の交流も含めて検討していく。

○今後設置する審議会にも関連するが、構成員が各団体の長ばかりとなると若い世代の考えが反映されにくくなってしまう。審議会には若い方にも参画してもらい、若者の意見を吸い上げながら次期プランの検討を進めてほしい。

○美術館整備に向けた検討状況は。

市の美術館基本構想に基づき取組を進めており、現在はアトラボはしもとの再整備について検討している。また、作品展示を行う一般的な美術館の設置については、具体的な検討は進んでいない状況である。

○文化の範囲が広いため、どこに重点を置くかも重要な視点になる。行政の中でも様々な部署が文化施策を展開しているが、中心となるのは文化振興課という理解でよいか。庁内横断的な取組を進めるが、引き続き本課が中心となり進行管理等を行っていく。

## ( 3 ) 相模原市文化振興審議会の設置について

事務局より資料4に基づき、説明を行った。さがみはら文化振興懇話会を改組し、次期さがみはら文化振興プランの検討や計画策定後の進行管理等について専門的な知見から意見をいただくため、平成31年度より相模原市文化振興審議会を設置する旨の説明を行った。

審議会の設置や構成団体について賛成する。構成員として公募市民が参画するのであれば、若い世代の参画を目指していただきたい。

若い世代の方が参画できるように取り組んでいく。

## ( 4 ) 情報交換

なし

### 3 その他

さがみはら文化振興懇話会の開催については今回が最後となるため、事務局よりこれまでの協力について御礼を申し上げた。

### 4 閉 会

以 上

## さがみはら文化振興懇話会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	池田 宗道	相模原市文化協会	座長	出席
2	大神田 賢	相模湖文化協会		欠席
3	川上 勇	女子美術大学		欠席
4	小林 明子	ギャラリースペース游		欠席
5	笹野 章央	相模原市民文化財団		欠席
6	佐藤 彰夫	相模原市公民館連絡協議会		出席
7	佐藤 勝男	津久井文化協会		出席
8	佐藤 清美	相模原市立小中学校長会		出席
9	戸塚 厚生	相模原市文化財研究協議会	副座長	欠席
10	友田 幸男	相模原市民音楽団体協会		出席
11	古田 政子	相模原市社会教育委員会議		欠席
12	穂苅 健二	相模原市自治会連合会		欠席
13	森久保 光一	藤野文化協会		出席
14	門間 由佳	相模原芸術家協会		出席
15	山本 英助	相模原音楽家連盟		欠席